



サイジャーナル

月刊
5-7-8
第470号

日本サイ科学会 令和5年7月1日発行

本部 〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 郵便振替 00100-2-15344 日本サイ科学会
電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

東 北 〒981-0904 仙台市青葉区 旭ヶ丘1-36-17サザビル201号 佐佐木 康 二 ☎ 022 (279) 0908-FAX 022 (274) 0097	中 部 〒455-0053 名古屋市港区 名四町113 眞 野 博 英 ☎ 090-9196-2963	北 陸 〒920-0031 金沢市広岡2-7-25 プレミスト金沢駅西口1 804号 佐 藤 禎 花 ☎ 076 (234) 2034	関 西 〒566-0024 大阪府摂津市 正雀本町2-5-23 橋 本 和 哉 ☎ 06 (6382) 2110-FAX 06 (6319) 3544	九 州 〒814-0015 福岡市早良区 室見1-1-3-2F 伽 羅 ☎ 070 (7782) 6216-FAX 092 (846) 8200
--	--	--	--	---

七月本部例会のお知らせ

身、口、意、を重ねて気の世
界を体験するワークショップ

講師 中村康弘氏

日時 令和5年7月2日(日)

午後1時30分～4時30分

会場 北とびあ9階902会議室

交通 J R京浜東北線王子駅下車

徒歩2分、ホーム最北端

(赤羽寄り)の階段を下り改

札口を出て見える高層ビル

会費 会員二千円(当日入会可)

一般三千円 学生一千円

(講演内容)

三密加持の理論を氣功法に取り
入れ、瞬時に氣の世界に入る体験
を皆さんと共有したいと思えます。
弘法大師空海は、三密加持により
即身成仏すると伝えられています。
三密とは身密、口密、意密を重
ねることです。この理論を使って
空の世界、脳波 θ 波(3～8ヘル
ツ)をつくります。リラククス状
態の α 波より更に眠りに近い脳波
です。変性意識、集合意識ともい

◎年会費未納入の会員の皆様へ

「サイジャーナル3、4月号」
に年会費納入用の郵便振替用紙を
同封致しましたが、まだ未了の会
員の方がいらつしやいます。

日本サイ科学会の活動は皆様の
年会費で支えられておりまして、
現在会計も厳しい状況ですので、
是非早めのお振り込みをよろしく
お願い致します。

われるこの状態になると、氣を感
じるようになります。本人、その
周りの人を癒す効果があるといわ
れています。氣の理論、氣を実感
できるワークショップです。

◎中村康弘氏プロフィール

1955年生まれ、大学卒業と
同時に起業、問屋、小売業を営む。
能力開発、リーダーシップ論等を
学び、人間力向上のために氣功法
を学び始める。阪神淡路大震災の
時、競争から共生へと氣功法を業
としてスタート。従来の氣功法に、
トランスパーソナル心理学、易经、
幸福学などを織り交ぜ確立する。
厚木市七沢温泉七沢荘を拠点に各
地で教室、個人セッションを行う。

今月号の記事

- ◎七月本部例会のお知らせ
- ◎年会費未納入の会員の皆様へ
- ◎御寄付御礼
- ◎10月全国大会研究発表者募集
- ◎第49回宇宙生命研究分科会予告
- ◎九日本部例会のお知らせ
- ◎関西日本サイ科学会七月分科会
八月研究集会のお知らせ
- ◎九州日本サイ科学会八月研究集
会のお知らせ
- ◎令和4年六月本部例会の報告II
- ◎日本古代遺跡調査報告I
- ◎スプーン曲げができる人は
「悟り」が近い!

「心を科学する博物館」と
一般の御寄付御礼

(6/11受領分まで)

金五万円也 森安 政仁 様

2023年日本サイ科学会
第31回全国大会発表募集

◆ ◆
毎年重要な行事である全国大
会が、今年も10月9日に開催され

ます。会員の研究発表＋シンポジウムが予定されておりますが、会員の皆様には積極的な発表ご参加を期待しております。

今年のシンポジウムのテーマは「宇宙人とサイ」に決まりました。米軍によるUFOの目撃証言が、新たに数百件に上っていることが、今年の1月に米政府から報告がありました。日本サイ科学会の主要なテーマとして検討していきます。

会員の研究発表では、シンポジウムのテーマに関してでも、そうでなくてもOKであり、これまでの研究での新しい発見、現在もしくは近いうちにデータ取りをしてまとめたいこと、偶発現象(UFO、心霊現象等)の目撃と原因の推測・説明、様々なサイ現象の仮説(理論)など「サイ」に関連することなら何でも結構です。ご自分の考えや研究成果をまとめ、発表して頂きたいと存じます。

7月末までにタイトルと簡単な内容(2000字くらい)をメール、またはFAX、ハガキでお送りいただき、一応審査させていただきます。通りましたら8月31日までに原稿ファイルをメール添付等で戴

きたいと思えます。原稿の書式は後でお知らせ致します。

※全国大会での発表はできないが、論文集「サイ科学」の資料として、発表したい原稿も募集致します。今年度は全国大会の予稿集が論文集「サイ科学」を兼ねますので、8月31日までに投稿願います。

◆ ◆

第49回宇宙生命研究分科会 第17回 UFO・オーブシンポジウム

テーマ「宇宙人革命(其の3)」

日時 令和5年7月16日(日)

午前10時～午後4時30分

会場 北とびあ7階第二研修室
交通 J R京浜東北線王子駅下車

徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札口を出て見える高層ビル

参加費 一般 2000円

サイ・サトル会員、学生、60歳以上75歳未満
1000円

宇宙人、75歳以上 0円

(宇宙人 認定は受付にて)

※事前参加申し込みは不要です。

※当日会場にて直接、現金にて参加費をお支払い下さい。

「UFO・オーブシンポジウム」は今年で17回目。2021年9月以降、防衛相指令でUFO(UAP)が撮影・報告義務が防衛関係者に課されている現況からも、先駆としての自負を誇りとして持ちつつ、これからもますます研究の精進に努めてゆきます。この夏もお楽しみいただけたらと思います。是非いらしてください!

(講演者)

きたじまひろし(宇宙現象観測所センター所長)、マリア石塚(コンタクテイ)、羽仁礼(超常現象研究家)、えいこ☆クルスマーテ(銀河の歌姫)/Jasmine(舞)Kumi(演奏)、ジヨウスタージョウ(DJ TOO)、和場まさみ(ライター・出版プロデューサー)、田中俊行(呪物蒐集家)、浅川義治(UFO議員、衆議院議員)、港マコ(イベント構成作家)、Susasa(女史(ラジオパーソナリティ)、クリス・アーンシヨウ(作家、早

稲田大学講師)、浦野良一(フリーエネルギー研究者)、他講演者等の変更はありますので、ご了承ください。

(スタッフ) 申彦/萩原孝一/磯部コウジ/松島しんめい/Samyc Satoh/小峯康弘/他

◆ ◆

九日本部例会のお知らせ

心霊現象から何を学ぶか?
(人生をどう生きるか)

講師 小林信正氏

(日本サイ科学会理事長)

日時 令和5年9月18日(月・祝)

午後1時30分～4時30分

会場 北とびあ7階701会議室
交通 J R京浜東北線王子駅下車

徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札口を出て見える高層ビル

会費 会員二千円(当日入会可)

一般三千円 学生一千円

〔講演内容〕

世の中は様々で、お金、地位、名誉が欲しい人々がいれば、愛、幸せを求めている人々もいます。「人はなぜ生きるのでしょうか」「人は死んだらどうなるのか」目に見えない心霊世界の虜になって奇人や変人と言われようが、60年間探求して「霊的な真理」に目覚めました。

「心霊現象から何を学ぶか?」「霊魂についての映像をご覧頂き、「この人生で大切な事とは?」皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。」

◎小林信正氏のプロフィール
都心生れ、小学2年時に敗戦。焦土により小学校6回転校。
医師を志し、高校3回転校。解剖を見学して医学を諦める。
旧東京写真大学から慶応大学で哲学・心理学を専攻。在京テレビ局のディレクター、チーフプロデューサー、部長。退社後、制作会社JMC代表取締役。大学や企業研修の講師。元公益財団法人日本心霊科学協会常任理事。
日本サイ科学会理事長。
心霊現象の研究60年。

著書「ひらめき」の力。他多数。

関西日本サイ科学会 七月分科会のお知らせ

インド占星学紹介講座

講師 金子栄子氏

〔関西日本サイ科学会副会長〕

日時 令和5年7月8日(土)

午前10時30分～12時

会場はしもと内科外科クリニック
<https://clinic.hashimoto.net/>

会費 会員 2000円

一般 2500円

会場参加のみ、会費は当日支払い
申し込み先は

関西日本サイ科学会メール
kansai.psi.2023@gmail.com
まで

「7月8日、インド占星術分科会希望」と明記の上、「名前、メールアドレス、電話番号」を記載ください。

〔講演内容〕

「インド占星術」は、ある天体の座標を基準として30度ずつ12分割する方法でバースチャートを出す。

またさらに分割図といってインド占星術独特の手法もあります。そこから個性や運命などを読み解き、最善の人生を目指すことから、光の科学や運命の学問とも呼ばれています。

西洋占星術の元になっているとも言われ、分割図、ダシャーなどでより詳細な事が分かります。

今回の分科会ではインド占星術を知らない人にとどのような事が占えるのか、実際の人の事例を見せながら解説します。

関西日本サイ科学会 八月研究集会のお知らせ

「呪術と密教」講座

講師 松本真弘阿闍梨

日時 令和5年8月5日(土)

午後3時～5時30分

会場 摂津市市民ルーム大会議室
阪急京都線、正雀駅から徒歩3分
<https://shojyakunet>

会費 会場参加、WEB参加とも

会員 3500円

一般 4000円

※なお講座後は懇親会、「寿し匠おがわ」にて午後6時頃から15名まで。参加費4400円(税込) 飲み代は各自で。

お申し込みは

会場参加、あるいはWEB参加も含めて、申し込み先は

https://docs.google.com/forms/d/1Cu2NOPnJjaGY8wH5tkwumWd1fwSLKSWvTjXl6TL_v5U4/edit



申し込み受付後に振込先をお知らせいたします。

◎松本真弘阿闍梨のプロフィール
真言宗醍醐派の僧侶(尼僧)、

修験道の阿闍梨、山伏。物部古神道伝承者痛み抜き気功・難病祈祷・憑き物祈祷。

(講演内容)

呪いは霊的な手段で、悪意をもって他の人や社会に災厄や不幸をもたらす行為です。丑の刻参りや陰陽師が呪いをしたことは歴史的に有名です。

また現代でも小説やアニメ「呪術廻戦」などでもその様子が紹介されています。呪いは昔の出来事で科学の進んだ現代ではないだろうと思いがちですが、決してそうではありません。現代でも呪いを請け負う人はいますし存在します。呪いを受けた人は相当な精神、身体的ダメージを受けています。

今回の松本阿闍梨の講座ではそうした呪いがどのようなものであるのか、現在でも本当に存在するのか、その対処はどうすればいいのか、などについてお話して頂きます。

スピリチュアルなことに興味のある方、呪いに興味のある方、呪

いを受けているかもしれない方、呪いをどのようにブロックすればいいのか知りたい方はぜひ参加ください。

九州日本サイ科学会
八月研究集会のお知らせ

2025年から始まる大変革の時代とは？

天王星、海王星、冥王星の
新星座入宮による占星学的
影響について

講師 瀬尾泰範氏
(占星学研究者)

日時 令和5年8月27日(日)
午後1時30分～4時30分
会場 エイムアテイン6階6C
交通 JR博多駅博多口徒歩2分
会費 会員二千円(当日入会可)
一般三千円 学生一千円

※当日会場にて直接、現金にて参加費をお支払い下さい。

講演内容

現在、書籍や様々なメディアで2025年に「大地震が来る」とか「大災害が来る」という予言や予想がされております。

確かに、2025年には天王星、海王星、冥王星が新しい星座に入り、これらの「トランスサタニアン(土星よりも外側を公転する惑星)」は、1星座を通過する期間が長いので(7年～20年位)、その地球や世の中に与える影響力は加算されて、強力になります。

例えば、天王星が自分の支配星座の水瓶座にあった1996年～2003年には、天王星が象徴する科学・技術と通信、フラットなコミュニケーションと関係性に関わるインターネットが世界中に普及しました。

また天王星は地震に関わる天体でもありますが、3・11東日本大震災のほぼ当日に、黄道12星座の起点である牡羊座に入宮しております。

海王星が支配星座の魚座にある2012年～2025年には、海王星が象徴するUFOやサイ・スピリチュアルな現象・研究に人々の関心が向いております。

2025年には、天王星、海王

星、冥王星の3星がしばらくの間、特別なアスペクト(周波数に関わる)を形成します。

ということ、トランスサタニアン(土星よりも外側を公転する惑星)の関心のある未来予測も含めて、占星学的視点から2025年からどういう時代が始まるかについて詳細に解説致します。

◎瀬尾泰範氏のプロフィール

静岡県清水市(現静岡市)生まれ。西洋占星学を40年以上研究、かつプロとして診断もし、70年代に英国のJohan M. Audey氏が提唱したハーモニクス理論を発展させて、独自の「アストロハーモニクスチャート」を使い、パーソナリティや才能、運勢等の新しい診断法を確立した。

一般人レベルの念動力も測定できる「サイポテンシャルメーター」を開発し、PK・ESP能力の養成も指導している。「アストロハーモニクス」、「才能開発研究所」を主宰、日本サイ科学会理事。

著書「来たるべきアクエリアスの

時代」(1985 潮文社)、

「自分の隠れた才能が見つかる本」(2005 ソフトバンククリエイティブ)

令和4年6月本部例会報告Ⅱ

私が体験し、学んだスピリチュアルヒーリングの真実

講師 平田進一郎氏

神様仏様もぶっ飛んじゃってしまいますから、好きなことで自分の事をやるようになったので、「留学、留学」と言っていたのにいつの間にか「遊学」に変わってしまったのは事実です。

私は1982年に日本に帰国して仕事をしましたが体調をものすごく崩しました。特に若いながらにして、血圧は上が180、下が110くらいあったのですが、医者から「君ね!こんなに血圧が高かったら死んじゃうよ。心臓も悪くなっているみたいだから、もう飛行機に乗ってはいけないよ。」

と言われたのです。

このときに医者から言われた言葉は私にとつてもものすごいショックとして残っています。それはその後血圧を測ろうとして血圧計が出てくると、測る前から血圧が上がってしまうのです。

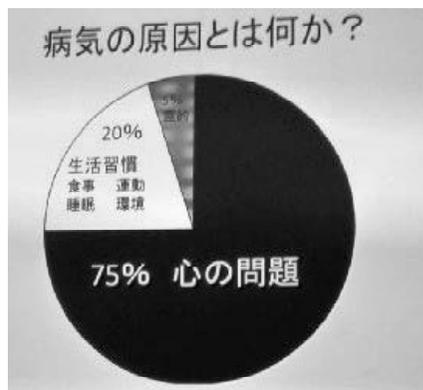


そんな中で食事療法や九州大学心療内科の池見西次郎先生の自律訓練法をやってみたのですが、やはり突破口としてこれしかない、これだなと思ったのが、それから2年後の1984年にフィリピンのパギオで受けたスピリチュアルヒーリング(心霊治療)というものを経験したのが大きな転換期となりました。

ではこの心霊治療というものは一体どんなものなのか?というお話をしていきたいと思います。

初めてフィリピンに行ったとき

に向かうのヒーラーの方たちが説明する内容ですが、「病気の原因とは何か?」という「75%は心の問題だ」と言ってるわけです。そして残りの20%というのが「生活習慣、すなわち食事、運動、睡眠、環境」となります。生活習慣は今の世の中の健康に対するツールとして8割、9割を占めているんじゃないでしょうか?



なかなか、「いや実は75%は心の問題だよ」というところまで主張するのは、勇気もありますし、「本当にそうなのかな?」と思うわけです。今日は「本当にそうなんだ」というお話を科学の論文も使いながら説明したいと思います。

「心の問題75%」と言っておられますが、生活習慣の食事、運動、睡眠というものも、実際は心の問題ではないでしょうか?例えば、私が食事に気をつける、だからこういうものを食べていくようにする、運動もジムに通って適度に運動する、朝はジョギングします、散歩もします、というのは何が決めているのでしょうか?全部この心が決めていることなのですね。

ですから大げさに言っても、ほとんど病気の原因の発端というのは、心の問題なんだ、ということになります。でもなぜ人によって、あの人は食事に気をつけている、というふうにはらつきが出るのでしょうか?大事な事は、実は今日のお話の最大のテーマなのですけれど、心の問題という大きな目の前にあるものの底にある意識、この潜在意識の違いというのがあります。

表に出る心の問題とか、生活環境というものに大きく影響されているということに、私たちは気が付かなくてはならないと思うわけです。これが最初にフィリピンのヒーリングセンターで学んだこ

との根底にあることとなります。では早速スピリチュアルヒーリングのお話に入ります。



この写真はヒーラーが手を当てて、エネルギーをこの女性に入れているシーンですが、実際こういう事を向こうではやっておりません。私が行った場所というのは、「Foundation of International Spiritual Center」という大きな組合となっております。ここには当時多くの優秀なフィリピンのヒーラーが集まっていて、きちっとした形で発信をしておりました。1980年代というと、日本でもフィリピンの心霊手術は本物なの

か偽物なのかという事で賛否両論。いやあれは手に何かを持っていて、そこでやっているときにそれを出してきているのではないかと、とかいろいろ話題になった時期ではあります。

ただ私自身は延べにして20年間に渡って何十回も通い、何十回も現場でそれを見、後で皆さんにも映像として今日初めてお見せしますけれども、どんなことをやったかということを見ていただきませう。これは偽物もあるけれど、本物もあるんだということを強調しておきたいと思えます。

ただ手をかざしてヒーリングしているだけでしたら皆さん内部が見えないから意外と納得されるのですが、実際に体の中から何かが出て来ると、今までの常識から完全に疑いますので、このことはあり得ないという否定するところから皆始まっていくのですね。私も実際そうでした。

私も20代の半ばでしたので、見るもの聞くもの全部眉唾に見えたりしたのですが、次の写真は世界的に有名だったヒーラーのトニー・アグパオアの心霊手術です。



彼は患者の眼球をパワーでせり出して、後にある悪血をずと取っている映像です(写真左)。写真右はお腹の中に手を当てていくと、パワーで毛穴がぱーっと開いて、その毛穴から体の中に溜まっているネガティブな意識、それはヒーラーが手を当てることによつてそのネガティブな意識が集まって来てそれをつまみ出すとそれが物質化現象として現れてくるという事です。

日本でもトニー・アグパオア著の「フィリピン心霊手術者の半生わが奇跡の力」という翻訳本が出ております。



これが1984年、私が24歳でセンターに行っていたときの写真です。



ここから20年近くフィリピンでずっとお世話になったヒーラーの方たちもいますし、また日本から私を連れて行った私の師が亡くなるまでセンターに通っておりました。皆白装束ですけれども、決して変な宗教とかそういうものではありません。冥想をするときにこういった服装をすることにより、非常に多くの恩恵が得られるというところでこういう服装をしております。

フィリピンのヒーリングセンターにおいて、一体何を治療しているのか？お腹の中から取り出したその臓物というのは一体何なのか？そこがやはり皆さん一番関心を持たれるところだと思います。当時私がセンターに行ったときにこういう説明をされました。

人間には原子肉体というものとの今の言葉でいう量子体（光子体）というものの2つがある。その2つが合体することによって、自分というものが形成されている、ということ。細胞60兆個から成る原子肉体は物質でしか過ぎないのですが、そこに魂という光子体が入ることによって、私というものがこの地上界に出て表現ができるようになっていく。



ですから原子肉体を治すのは、日本の病院で対症的に治していけばいいのだけれど、フィリピンに来たときには肉体を治すのではなくて、この光子体の部分を治さないと意味がない、ということ。でも心霊手術でお腹からいろいろなものが出てくると、もししたら自分が癌ができていて、その癌が治ってしまうと淡い期待を皆さんもつのですね。でもそれは全く違うことなんです。

ですから日本のテレビで放送されたときに、何が違ったか？というところ「このヒーラーは今この患者さんの癌細胞を取り出しました」と説明されます。この時点からダ

メなんです。そういうことではないのです。スピリチュアルヒーリングは光子体を治していくのです。光子体を治していくことによって自分の原子肉体が自動的に治っていく、という方向に向けるのが本物と偽物の見分け方になります。

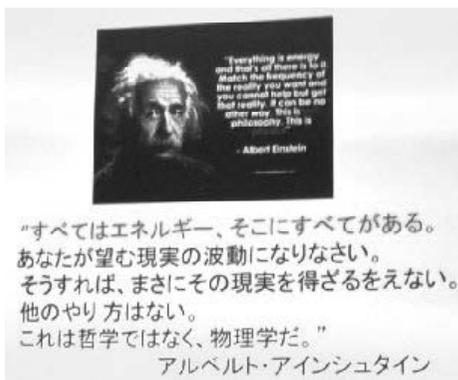
当時私は原子肉体という言葉と光子体という言葉しか学びませんでした。このホリスティック栄養学を始めて、量子というものを知ることになってから、光子体というのは量子体とも呼ばれているものなんだと。ここにある「Astral Projection」というのも正にそうなんです。

現に我々の魂というのは光です。現に我々の魂というのは光です。で、バイオフィトン (Biophoton) という言葉をネットで検索すると、生きとし生けるもの、果物であろうが、お肉であろうが、お花であろうが、何だろが必ずこのバイオフィトンという光子体として存在しているものが確認できる、というふうに言われております。

それが転じていけば、「あの人オーラが出ているね」とか「あの人ちょっとオーラの出が悪いね」ということも全部この光子体を見ているわけです。つまり現代的な量

子的な話をすれば、バイオフィトンを見ていくということなんです。これをとにかく治さなくてはダメなんだよ、という考え方です。

「光って何なの？」と聞かれたら「光というのはエネルギーです」じゃあ「エネルギーは何なの？」と聞かれたら、アインシュタインに聞けば分かるのですが、「波動」つまり「波」なわけです。



「波」つまりエネルギーの力がどうなのか？この人が病気であればやっぱり合わせて波動が弱くなっている。エネルギーが弱くなっている。だから肉体に対していい影響を及ぼさない。だから治すのは何かというところこのエネルギー場

を上げてあげる。エネルギー場＝生命場なのでそれを上げてあげるということは何よりも大事なことです。

天才アインシュタインの言葉を借りれば、

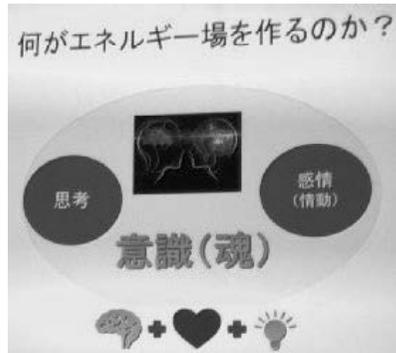
「すべてはエネルギー、そこにすべてがある。あなたが望む現実の波動にならなさい。

そうすれば、まさにその現実を得ざるをえない。他のやり方はない。これは哲学ではなく、物理学だ。」というふうに科学の言葉でもこのように表現しているくらいです。

私は40年前に半分は怪しい世界というものを見ましたが、20年前くらいからその怪しい世界というのがこの科学の言葉できっちり説明できる時代になってきたのも事実です。

何がエネルギー場を作るのか？それは思考と感情(情動)です。いい思いをする、いい考えをする、そしていい感情をもつということ、その人の「場」というものが出てきます。だからよく言うのは、思考だけでもだめですよ、感情だけでもだめですよ、この図にあるように思考(脳)に感情(ハ

ート)をプラスすると光(エネルギー)になります。



ですからいくら何か事をやるにしても、心がイヤイヤ、感情があまり好ましくない状態で、これやらなくちゃだめなんだろうな、ということをやっているということは、脳としては正しく動いていなくても、ここにハートが入っていないことよって現実的にはエネルギーにはならないという、極めて単純と言えば単純な図になるわけです。

そして冒頭述べましたように、この思考と感情を生み出す最大の原動力というのは意識、つまりその人の魂というものになってくるわけです。

昔広告に「人はエネルギー(波

動)だ」というのがありましたが、その通りで人がエネルギーなら「細胞にもエネルギー(波動)あり」ということになります。(続く)

日本古代遺跡調査報告Ⅰ

三好 一郎

日本古代史研究チーム

チームリーダー 天堂珠希

チームサブリーダー 佐野信子

影山治夫

神職 卜部丹也

神職 三好 一郎

はじめに

日本国内における神社は、8万8000社以上といわれ、撰社社社を入れれば30万社を超えるのではないかとされている。文化庁の宗教年鑑掲載の神社数では、新潟県、兵庫県、愛知県などに多く、逆に和歌山県、香川県、宮崎県、三重県などは少ない。

何故かと考察してみれば、神社数の多い特性では、神社が多い

地域の兵庫県、愛知県、福岡県といった地域は、昔からの経済・物流の地であるから、その地の者が神社の組織制度による撰社・末社を勧請してそれらを信仰と商売繁盛祈念のために、神教、仏教等多くの宗教が存在していたためではないかと考えられる。

そのため、伊勢神宮が存在する三重県、出雲大社の存在する島根県や、金毘羅宮の総本宮の存在する香川県など本宮が存在する県などの地域には、他の神社の信仰はその県内に参入しても拡大し難いため、少ないのではないかと思える。だが、新潟県に神社数が突出して多い理由としては、5世紀頃より仏教がもたらされ、そこで仏教の拡大が図られると伴に神宮寺の建立が勧められた。そして明治期における、神仏習合廃止、廃仏毀釈と神社の統廃合により、いくつかの神社がまとめられることとなったのだが、新潟県においてはその統廃合が遅れ、結果として統廃合後の神社が計上されたのではないかと解釈されている。

そして、当然だが急激な統廃合が生ずれば、神社に祀る御祭神も正誤が生じるのは必然であり、祀

られている御祭神も困惑されていると思われる。また、神社建立時にお祀りした御祭神は単に勧請し、お祀りをしたという事だけではなく、時の朝廷、幕府による怨霊封じのために祀った神社もあるのではないかと考えられる。

そこで、日本古代史研究チーム（以下、「チーム」という）は上記の神社における御祭神が、果たして正當に勧請されお祀りされているのか、また理不尽な理由により御祭神として封じ込められたのかなどを検証と、確認のため奈良県に多く存在する、神社・古墳群、遺跡を調査することにした。また、そこで封印されている御祭神が封印を解かれ解放され、天へ導かれ向上されるのを願い、その手続きを試みた。

また、本調査をするにあたっては、遡ること数年前から、いくつかの古墳に埋葬されているのである御祭神と思われる方からの霊的依頼が、審神者としての高い能力をもつチームリーダー、霊媒師として特異な能力を持つサブリーダーへ強く訴えかけがあったのだが、だがそこで我々チームは率先していくというのではなく、半ば

強引的に呼び寄せられることとなり、いくつかの古墳と、神社等に行くこととなった。その探訪・調査した結果と、奈良県内に在するいくつかの宗教施設参拝・調査の結果を報告する。

調査期間

第1回調査 令和4年7月15日～17日
16日・箸墓古墳
17日・天の香久山↓三輪山↓大和神社↓石上神宮

第2回調査 令和5年4月29日～5月2日

参加者・スピリチュアルヒーラーであり審神者のチームリーダー天堂珠希、影山治夫、神職卜部丹也、神職三好一郎、（霊媒師としての能力が高く文化人類学では「シャーマン」として位置づけされる立場のサブリーダー佐野信子・ライプ中継参加）

29日・新宿出発↓龍樹神社↓油日神社↓スマイルホテル奈良泊
30日・大和神社↓石上神宮↓天理教甘露台参拝↓大神神社別宮の村屋坐弥富都比売神社↓ホケノ山古墳↓箸墓古墳↓ヒミコの庭↓レス

トラン音楽イベント

1日・守屋神社↓鳥山公園（神武天皇大嘗祭地）↓長岳寺（音楽奉納）↓三輪山↓橿原神宮、神武天皇陵↓天の香久山
2日・村屋神社↓天の香久山南面天岩戸神社↓帰路

調査方法

チームが、神社・墳墓等施設に参内・参拝し、霊的示唆、感応を霊媒師であるサブリーダーが受けとり、リーダーが内容、状況を審神して、埋葬者・主祭神の確認とその方々の希望する方法、例えば「天に上げてほしい。光を当ててほしい」等の願いをかなえていくこととする。

調査内容

29日・新宿西口PM2時に集合し、雨の中東名を走行し、何故か途中の滋賀県甲賀市で高速道を下り、一般道を走行。雨の中走行し、日は長くなつたとはいえ、雨天で午後8時の時間帯であるから、外界は薄暗い。甲賀市土山町前野に車を進めていて気付いたら、龍樹（たき）神社の前に出た。参道前に停車し参道を拝察すると、いか

にも古式ゆかしい厳かな感じがしたが、夜半と雨中であったので車中からのご挨拶のみ執り行い通過。

ここのご祭神は、速秋津日子神速秋津比賣神（配祀神）大山祇神事代主神宇賀魂神。由緒としては、垂仁天皇四年に倭姫命が、天照大神を奉じて近江国甲賀郡垂井日雲宮に至り、ここに座すること四年。応永年中に地頭岩室主馬頭橋家後が、樹の文字を加へ奉り滝樹大明神と改号したとのこと。龍に縁のあるチームだからか、最初に通過するのが、龍に縁のある神社とは驚くと共に導かれを確信する。

次に、甲賀町油日を通過するのだが、外は暗く住宅棟もなかなか確認できない道を通過したのだが、感覚として通過した近々のところには神社の存在を感じたことから調べてみると、ここには油日神社（あぶらひじんじや）が在り、国史見在社で旧社格は県社。

祭神の油日大神は、勝軍神として武士の崇敬を受け、社名から油の火の神としても信仰されていた。油日岳の山頂に、油の火のよな光とともに油日神が降臨したことから「油日」の名がついたと伝えられる。また、聖徳太子が社

殿を建立し油日大明神を祀ったとの伝承もある。

さらに、中世には甲賀武士が聖徳太子を軍神として崇めるとともに、「甲賀の総社」として信仰されていたのだが、やはり聖徳太子に縁のあるチームでもあるから、ここに案内されたのかと思われる。なお、甲賀地域は秦一族がこの地に住んでいた背景がある。甲賀と聖徳太子のつながりは、日本ではじめて忍者を使ったのは聖徳太子という説があり、当時聖徳太子が「志能便(備)」と名づけて登用した大伴細人(おおもものほそひと)が、忍者のルーツではないかといわれている。江戸時代前後の忍術書『忍術應義伝』で、滋賀県甲賀地方・馬杉に住む大伴細人を、太子がいわゆる忍者として登用したといわれている。

聖徳太子と大伴細人とは、物部守屋との戦いに負けた太子が甲賀に逃げ、このとき細人は忍術を使って太子を隠し、追ってきた守屋から逃げる事ができた。それからは、聖徳太子は大伴細人に物部氏の調査を依頼し、さらに守屋を甲賀の地におびき出し、守屋の討伐に成功した。

太子は細人の働きを評価し、「良き情報の入手を志す者」という意味の「志能便(備)」の名称を与えたが、志能便の具体的な任務は、我々の認識する忍者と同じ敵の情報や天下の情勢の収集をすることであった。

そして、聖徳太子は、秦河勝と服部氏の一族も志能便に登用していた。秦氏は各地の、祭礼などの芸能活動にも力を入れており、その商業活動は広域にまで及び、各地で集めた情報を太子に報告していたようだ。そうした秦氏のリーダーだった河勝は、聖徳太子のプレン的な存在でもあったといわれている。服部氏は、秦氏の一族で三重県の伊賀地方に移り住み、伊賀や伊勢の神社創建に尽力している。聖徳太子は、伊賀や伊勢の情報を服部氏に集めさせ、服部氏はのちの伊賀忍者の祖にまでなったという。秦氏の一族は、6世紀頃にペルシャから朝鮮半島を経由して日本列島の倭国へ渡来した渡来人集団で、そのルーツは秦の始皇帝という説もある。

29日は、奈良駅前、奈良駅前ホテルに宿泊する。連泊予定のビジネスホテルだが、観光が目的では

なく、食事も外食で地元料理を食べることができるので十分だ。

30日・朝はゆっくりとスタートし、まずは天理市新泉町にある大和神社(おおよまとじんじゃ)をご参拝した。この神社は昨年もご参拝したが、境内で某奈良市議会議員と合流し、一年ぶりの再開で神殿を前に談話に花が咲いた。宮司と某議員とは、既知の関係でもあるからなのか、期せず参内して某議員とチーム一同御祭神への祈念と行程の安全祈願を受けた。

大和神社のご祭神は、日本大魂大神(やまとおおくにたまのおおかみ)であり大地主大神でもある大神で、八千矛大神、御年大神をお祀りしている。第五代孝昭天皇の年、宮中内に天照大神と同殿共床で奉斎されたが、崇神天皇のときに二神の神威を恐れ天皇は、天照大神を皇女豊鋤入姫命として倭の笠縫邑に移された時、皇女淳名城入姫(ぬなきいりひめ)に勅して、市磯邑(いちしのむら)に移されたのが当神社の創建である。

以降、神武天皇の功臣椎根津彦の子孫市磯長尾市を神主としてから、その子孫大倭氏が長く奉仕した。近世には、同族の市磯氏が

代々奉仕し明治に至った。上古より朝野の崇敬篤く、神階は寛平9年(897)に正一位に叙せられ、「延喜式」に大和坐大魂神社三座とある。

白河天皇の時に二十二社に列し、朝廷の奉幣も絶えず、明治4年5月14日には官幣大社に列せられた。神封も天平勝宝(749)から神護景雲元年(767)にかけて、大和、尾張、常陸、安芸、出雲、武蔵の諸国327戸とあり、伊勢の神宮に次いで多かつたが、その後兵乱等にて衰微した。奈良時代、朝廷の命により支那の国に渡って学ぶ遣唐使や使臣は、その出発に際し長途の交通安全の祈願を込め、その使命を果たしたという。

また、戦中は世界最大最強を誇る「戦艦大和」の守護神として、昭和17年12月、特別神符遷座祭を執行。その後、同艦の艦長以下乗組員も度々当社を参拝。同艦は、昭和20年4月7日鹿児島県坊ノ岬沖にて撃沈されたが、その英霊で外2736柱と護衛艦の方々が境内の祖霊社に合祀されている。

境内の一角に、戦艦大和の展示室があり当時の勇士が模型と、絵

画等により展示されているのだが、戦艦大和の名前が余りにも有名なことから、チームとしてはもう少し展示方法なりを考えて欲しいと思ったが、宮司のお話では予算的に難しいとのことであり、とても残念。

境内摂社には天候、水利を司る高麗神社（たかおおかみ）が祀られているので、御参拝したのだがパワーは？と言えば、力が余り感じなかった。だが、隣に鎮座する磐座のパワーはとても強く感じ、チームリーダーも素晴らしいパワーがある証の神的反応を呈した。皆さんも大和神社に御参拝されたら、ぜひこの磐座のパワーを是非感じると良い。

参道横に全長70mの前方後円墳の星塚古墳があり、大正時代刊行の奈良県山辺郡誌には「神武天皇の皇后姫踏鞴五十鈴媛命（ひめたらいすずひめのみこと）の御陵とする伝承が採録されている」との旨、案内板に記載されていた。大和神社としては、この古墳の調査を希望しないとのことであったが、チームは霊査した。

その結果、創建の歴史的に見ると「日本書紀」崇神天皇6年条に

よれば、百姓の流離や背叛など国内情勢が不安になった際、崇神天皇はその原因が天照大神・倭大国魂神の2神を居所に祀ったことにあると考えた。そこで、天照大神は豊鍬入姫命につけて倭笠縫邑に祀らせ、倭大国魂神は淳名城入姫命につけて祀らせたとある。しかし、神威によってか淳名城入姫命の髪は抜け落ちて体も痩せてしまったため、倭大国魂神を祀ることが出来なかったということから、祀られている方は皇后姫踏鞴五十鈴媛命ではなく、恐らくこの地で亡くなったのであろう皇女淳名城入姫（ぬなきいりひめ）ではないか？と三好は勝手に考えた。

案内書には、神武天皇皇后が祀られているとあるので、今回調査行動には欠席で東京に在している、チームサブリーダーに在しているの現地の古墳を映して、その霊査を受けるというライブ中継した所、埋葬されている皇女から「光を当てて欲しい」と霊言を受けた。皇女は、崇神天皇の御付きの人であり「古墳を守るため毒殺された」との霊言を受けた。リーダーは、その霊を上上げるための所作（伯家神道所作）を行うと、

ライブ中継のサブリーダーからの霊言で「ありがとうございます。これで上に上がれます」と感謝の言葉を賜った。

当時は、神社、橋、城などもそうであったように、これ等を作るときに、それを守るための人柱として埋葬していたんだらうか？

そのように考えると、この古墳には大和神社を創建し、その聖域を守るため毒殺され人柱として埋葬された方が祀られているのか、また祀齎していた皇女が亡くなることで埋葬した墳墓なのか不明だが、古墳の調査がされていないことから、あくまでも推測の域を出ない。

今回、サブリーダーのライブによる霊媒としての霊言を聴くと、距離、時間は関係なく、また現場に立ち会う事もなく携帯電話の画面からの情報を読み取り霊言を受け取り伝えるという、とてつもない能力が発揮されたと、ただ驚くしかない状態であった。残念ながら、この時点で祀られている方のお名前は不明であったから、今後の調査としたい。

次に、天理市布留町に創設され

ている石上神宮（いそのかみじんぐう）にご参拝したが、ここは布留山（ふるやま・標高266メートル）の北西麓の高台に鎮座し、この周辺は古墳密集地帯として知られている。この神宮は、日本最古の神社の一つで御祭神を布都御魂大神（ふつのみたま）、布留御魂大神（ふるのみたま）、布都斯魂大神（ふつとしみたま）とした武門の棟梁たる物部氏の総氏神として、健康長寿・病氣平癒・除災招福・百事成就の守護神として信仰されてきた。

石上大神（いそのかみのおおかみ）と仰がれる御祭神は、第10代崇神天皇7年に現地に祀られ、平安時代後期白河天皇は当神宮を殊に崇敬され、現在の拝殿は天皇が宮中の神嘉殿を寄進されたと伝えられている。

中世に入ると、衰微していったが明治を迎え、神祇の国家管理が行われるに伴い、明治4年官幣大社に列し、同16年には神宮号復称が許された。また、日本書紀には「4世紀頃、百済の国から倭に献上した」と記述されている七支刀（しちしとう）があるが、一般公開はされていない。ただ、七支刀

の刺繍を施された御守りなどが売られているので、その存在はうかがえる。

この神社の、本殿に祀られている大鏡(2尺以上はあるか?)を、本殿の拝殿横から垣間見ることができたのだが、遠くから見てもこの鏡のパワーはものすごく、オーラーも強く感じることから鏡の霊力も相当と感じた。また、確認したリーダーも、当然強烈なパワーに感応して伯家神道の所作を舞われている。リーダーは、時としてその地の龍神、土地神に感応し、また霊力にも感応して波動が良ければ、天空の霊気を受け上空に向かい体全体で所作をされ、悪い土地であるならば手刀でその場を切り裂き清めるような所作をするのだが、リーダーにこのことを聞くと「私は意識しない。また誰にも教授を受けてもないのだが、体が勝手に動き、時によりその場を切り清め、また時には陽の気を受け天女が舞うようなしぐさをしてしまふ」と述べている。伯家神道所作そのものだから、これは背後霊の指示によるのか、前世的能力なのかと。色々勘案するしかない。

この境内には、御神鶏として東

天紅鶏、烏骨鶏など多数の鶏が境内で放し飼いされていて、元氣よく「コケッコ」と鳴いているが、やはり神社に鶏は似合う。

次に天理市の天理教本部に行き、「ちば・かんろだい」に向かつて座り礼拝したのだが、それについて少し述べてみたい。天理市の街は、きれいな街並みと朱色の枠組みの建物が幾つもあり、中々に魅力的であり、三好は以前から一度は来てみたい街だったもので、念願がかない感激だ。天理教は、江戸時代に成立した新宗教(教派神道)の一つで、中山みきを教祖とする。

一般的には、奈良県天理市に本拠地を置き、天理教では人間の命の発祥地の中心を「ちば」(地場)と称し、1875年(明治8年)6月29日(陰暦5月26日)に教祖の「ちばさだめ」という啓示でその場所を定めている。崇拜対象の神の名称(神名)は、転輪王命で「親神」または敬称を付けて「親神様」とも呼称される。1884年(明治17年)に、神道直轄六等教会設立認可を得るため「天理王命(てんりおうのみこと)」に改称し

現在に至る。教会本部、各地の一般教会では、天理王命とともに教祖と御霊の社を置き礼拝しているが一神教である。

現在、日本国内を中心に、約1万4千の教会があり、信者数は120万人を数え、その教えは海外80カ国にあるという。昭和初期の1938年(昭和13年)の『時事年鑑』には、信者数455万9千人の記述があり、多い時には300万人〜500万人以上であったといわれている。(本内容については、三好が記したものであり、過誤があれば指摘願いたい)

天理教信仰の中心は、親神・天理王命(おやがみ・てんりおうのみこと)によって人間創造の地点と教えられる聖地「ちば」で、奈良県天理市に位置し、天理教教会本部の神殿と礼拝場は「ちば」を取り囲むように整然と建てられている。

指定駐車場に車を止め、参拝した帰りがけに案内する方と話したのだが、その方は学生ボランティアであった。対応は素晴らしく、心情共に他の所では感じないほどの丁寧な接遇であった。深く信心していくという事は、このような人間形成ができるのだと感激し、

自分自身に少し恥じ入る。

次に、大神神社別宮の村屋坐弥富都比売神社(むらやにいますみふつひめじんじや)に行くのだが、ここは大物主と三穗津姫の夫婦神を主祭神として祀る「縁結びの神」「内助の功の神」で知られ、大神神社(おおみわじんじや)の妃神を祀っていることから大神神社の別宮とも称され、またイチイガシが群生する照葉樹林があり、これは県の天然記念物にも指定されている。

この神社は「能」の発祥の地ともいわれており、鳥居から参道を通るときには別世界に行くような不思議な感じのする参道がある。チームリーダーが、この神社の守屋宮司に交渉し、5月2日に、今回奈良県で合流した雅楽演奏グループが、村屋神社で鼓、エレクトーン演奏、舞の奉納演舞することの許可を取り付けた。なお、宮司はグラフィックデザイナーとして仕事をされた経緯があり、神社の素敵な神符、絵馬、御朱印、お守りもご自分で作成しているとのこと。

摂社としては、村屋神社、物部

神社、久須須美神社、服部神社があり、いずれも霊的パワーを感じたが、きちんと祀られている神社においては、それなりのパワーがあるということを確認した。

次に、今回の重点調査古墳である、ホケノ山古墳に向かう。ホケノ山古墳概略説明から進めたい。ホケノ山古墳は、奈良県桜井市箸中にある古墳で、形状は帆立貝形古墳（纏向型前方後円墳）。国の史跡に指定されている（史跡「纏向古墳群」のうち）。（以下、Wikipediaから抜粋）

所在地：三輪山の西山麓、箸墓古墳の東側の丘陵。被葬者：不明（大神神社は豊鍬入姫命の墓としている）。築造時期：以前から豊富な鉄鏃や鉄製刀剣類、鉄製農具などの副葬品や埋葬施設の形式から4世紀の古墳と考えられてきた。しかし、桜井市纏向学研究センターは築造を邪馬台国の時代（3世紀中頃）に重なるとしている。奈良県立橿原考古学研究所は、2008年（平成20年）の発掘調査報告書で、出土遺物から築造年代を3世紀中頃としつつ、木槨木材の炭素年代測定結果の幅が4世

紀前半をも含むと報告している。

「邪馬台国の会」はこの測定結果と、石囲い木槨（割竹形木槨）を持つことが、『魏志倭人伝』の「棺あつて槨なし。」という記述と矛盾することから築造は4世紀であるとし、邪馬台国畿内説に対して疑問を呈している。前方後円形をした弥生墳丘墓であるとする見方と、古墳時代出現期のものであるとする見方が出されている。

墳形：纏向型前方後円墳（葺石あり）、円墳に短い前方部を東南方向に付けている。

規模：全長約80メートル。後円部径約55メートル（約60メートル）3段築成、前方部長約25メートル（約20メートル）、後円部高さ約8・5メートル、前方部高さ約3・5メートル。周濠幅約10・5メートル（西側のほうが広い）。発掘調査：1999年（平成11年）9月から橿原考古学研究所と桜井市教育委員会によって実施され、2009年（平成21年）に調査報告がなされた（『ホケノ山古墳の研究』）。

埋葬施設

墳頂部（後円部）の中央から「石囲い木槨」出土。大きな土墳内に内側の長さ約7メートル、幅約2・7メートル、高さ推定1・5メートル（現在約1・1メートル）の石室状の「石囲い」施設。その内部にコウヤマキ製の5メートルの刳抜式木棺を納めた大規模な木槨。広義の割竹形木槨。天井は木材を渡し、その上に地元の川原石を積んでいる。棺内は水銀朱で覆われていたと思われる。

前方部裾葺石を一部除去して木棺を埋葬している。くびれ部に簡単な埋葬施設1基あり。上記2つとは別に、主体部西側に横穴式石室がある。すでにあつた墳丘を利用して6世紀末頃に営まれたものと考えられる。石室全長14メートル以上。玄室に組合式家形石棺。副葬品：出土遺物

大型壺（瀬戸内系、高さ77センチメートル・最大径65センチメートル）
中型壺（東海系、高さ26センチメートル・最大径24センチメートル）
銅鏃約60本
鉄鏃約60本
素環頭大刀1口
鉄製刀剣類10口
加飾壺面紋帯同向式神獸鏡（がもんたいどうこうしきしんじゅうき

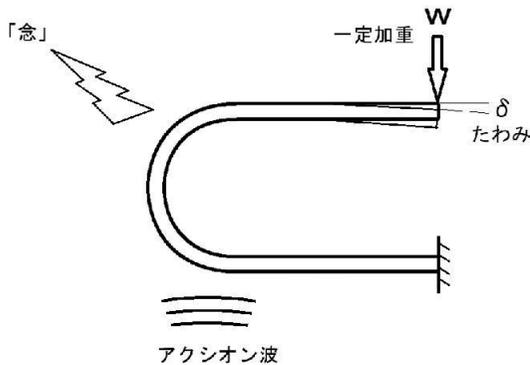
よう）1面
画紋帯神獸鏡かと考えられる銅鏡片2個体分
内行花文鏡片
鉄製農具
二重口縁壺20体（庄内式）
布留0式土器3点

上記の、調査結果から見ると埋葬者は不明であり、古墳が造られた時期は3世紀中頃とされている。チームは、ホケノ山古墳に上がり、確認するも初めは余り霊的な反応を感じなかった。そこで、東京にいるチームサブリーダーにスマホで、箸墓古墳を撮影しながらのライブ中継を試みたところ、埋葬されている人は「初代のヒミコであり、トヨではない。争いが多く、戦いがあり、側近にだまされて毒殺された。自分を裏切つて殺した者も殺され、一緒に埋葬された（くびれ部の入り口にあたる部分に簡単な埋葬施設1基あり、これがその者の墓か?）。謀殺を計画したのは物部氏だ。玉、剣と鏡に光を当てて欲しい」との霊言から、チームリーダーは当然感応し伯家神道の所作を舞い、埋葬者の意のとおり光を当てたところ、泣いて「ありがとう」とのメッセージを受ける。

サブリーダーは、いつもながら

(共鳴)の意味で、宇宙ではないがスプーンと一体となるとこれが可能となる。なお、スプーンの一部だけに短時間アクション波をあてるケースではテコの原理で曲げやすくなるケースや逆に柔らかくなっているケースも確認している。

次にステンレスをみつめる方式で念力を送りヤング率に変化が起きるのか、実験装置を工夫して、測定してみることにした。材料は、オーステナイト系とは書いてあるものの上記コーヒースプーンと同じく磁石にくっつくので、フェライト系も入っているであろう市販の0.1ミリ厚のステンレス鋼板で、これを12ミリ×150ミリの短冊状に切り出したものをつくったC型(片端固定)の板バネに、図のように一定加重Wをかけておいて、板バネ部分に「念」を送ったとき、たわみ δ が変化するかどうかを測定した(この検出には歪ゲージ方式を用いた)。



まず、その板バネの部分の直下に「アクション・テレポート装置」の波源を置くと、4分間で毎分3.1%の板バネのヤング率の低下

という様な変化を確認できた。

次に板バネの部分で斜め上からみつめながら一体となりつつ軟らかいイメージを送りながら「軟らかくなれ」と念じ続けると、1分間で2.5%のヤング率の低下を確認できた。同じように硬いイメージを送りながら「硬くなれ」と念じ続けると1分間で2.0%のヤング率の増大を確認できた。やってみると、感度は低いものの、上記の「念力計」でわかっていた「念」の性質と同様な反応だった。なお「硬くなれ」のケースで一旦ヤング率が増加するものの30秒程度で逆転して、毎分2.5%程度でのヤング率の低下に転ずる場合もあった。事前の試技で「軟らかくなれ」と念じていると、次の試技でもその効果が続く「残存効果」と思われた(この現象は「念力計」でも確認され似た現象は佐々木先生らの実験でも確認されている)。以上は筆者自身による実験であるが、これまで東北日本サイ科学会のメンバーなど6人に試していただいて同様な結果を得ている。

このように、スプーン曲げは人間が出しているアクション波がステンレス鋼のアクション・モードとしてのらせん転位に共鳴して起きていると思われる。スプーン曲げができる人は同じことを宇宙の背景物質でもあり宇宙の意図でもあるアクション場に対しても行うことができるが、それが「悟り」体験であり、健康の姿である。ステンレス鋼のアクション・モードの周波数も含めて、一連の振幅での特定周波数系列の能動的共振(共鳴)という $1/f$ ゆらぎになったとき、それは起きるわけである。

だが、遠隔による霊視の力もすさまじく、1500年以上も経た昔の残留思念と言うか、その地にもまだに残っている想念を的確に感じ、その内容を適切な表現で明示する能力に感服する。やはり、チームの歴史研究にはサブリーダーは欠かせない人だ。

また、ここで改めて考えさせられたのは、人の想念、つまり怒り、悲しみ、無念などのネガティブな念はいつまでもその地に留まり、1000年、10000年と経っても消えることなく、怨念としての残留思念があるんだということであるということ、今生で幸せであったとの想念は早い時期に昇華して、亡くなった者の魂は浄化・向上し、類魂に同化されていくことを確認した形になった。

古から言われ、伝えられているとおり「人にやさしく、正しい善行を行う事」が大切であり、人がその逆の行爲をした場合、1000年、10000年と子々孫々へ消えることない恨みを、受け続けることになるという事を再確認した形になった。

宇宙の様々な要素の変動に共通してみられるパワーのスペクトルのことである。

1/f ゆらぎは非線形力学系では「カオスの縁」で起きる自己組織化を意味するが実は我々が健康であれば起きる現象である。真の霊能力発現状態も「メンタル・トレーニング」の生みの親ユネスタール博士などの研究により既に明らかになっているように、一連の脳波の1/f ゆらぎである。これら1/f ゆらぎの本体がアクション場なのである。最近、関先生が「サイ科学」通巻17号で取り上げているKeshnerのモデルを拡張して筆者が明らかにしたのだが、1/f ゆらぎとは一連の振幅での特定周波数系列の能動的共振(共鳴)であり、神人合一はまさにこの状態だった。つまり「悟り」等はこのアクション場への一連の共振である。

スプーン曲げはこの共振の具体的な現象の一つであるといえる。スプーンはステンレス・スチールだが金属組織には格子欠陥があり、その中のらせん転位(screw dislocation)がなんとアクションであることが、最近のトポロジカルバンド理論等のいわば「新しい物性論」で明らかとなってきた。これは宇宙論が物性論の中に展開するものである。そのらせん転位にはカイラリティのモードが乗る。電磁場同様、もちろん屈折等はあるがアクション場はステンレスにも空間にも連続して存在するものとしてみるができる。磁流理論的には、単なるアナロジーではなく、万物を貫く位相としてアクション場は存在する。

以前筆者は「念力計」というものを開発した(「サイ実測研究会会誌」No.5)。これは念力で動かす対象のターゲットがセンサになっているものであるが、日本サイ科学会でのエスパー伊東氏の公開実験などをとおして、ターゲットに見えない糸をつけたイメージをもつと、ターゲットが肉眼で見えない遠くからでもターゲットを操ることができることが確かめられている。もちろん、1~2メートル離れた所から目でターゲットを直接「みつめる」だけでも動くことも確かめられている。力むのではなくターゲットとふんわりとした気

持ちで一体となると、よくコントロールできることもわかった。このターゲットも実はカイラリティをもつものだったのである。アクションはカイラリティの量子でもある。

もちろん、スプーンにこのアクション場としてのらせん転位があるかどうかを実験的に確認する必要がある。H. Forwardのサイコロの位置決めテストもそうだが、念力には遠隔伝達性がある。スプーン曲げはどうしてもスプーンを触ってしまうので実験測定しづらいが、この念力の遠隔性を利用すると測定しやすい。幸い、筆者はアクション場を再生する装置(「アクション・テレポート装置」という)を既に開発済みなので、この装置を用いて実験することにした。

まず、この装置の波源側にコーヒースプーンを丸ごと40分入れて置いたものを東北日本サイ科学会の出席者の皆さんに素のものとともに配って、硬さや感触の違いがあるかどうか確かめていただいた。スプーンの硬さの違いを感知できるかどうかで、らせん転位としてのアクション場(カイラル・モード)に共鳴できるかが確認できる。あまり力を入れないで感知できる人は生体場として、スプーン内部のらせん転位としてのアクション場との共振周波数(一つとは限らない、むしろたくさん)をもっているということになる。この場合、必ずしもスプーンを曲げるのが目的ではなく、アクション場によってスプーンの応力特性が変化することを感じ取っていただくということだ。上記のように、皆さんご自身から実はもともとアクション波が出ているので、それとスプーンとの間の一連の共鳴であることを確認していただければよい。

その2本についてスプーン曲げに挑んでいただいたところ、出席者の皆さん全員(6名)がアクション波をあてた方が硬くなったと言い、実際曲がり方に大きな差ができた。素の方を大きく曲げたり、アクション波をあてた方を折ったりする人もいた。この現象について、らせん転位にアクション波が共鳴し格子欠陥を埋める形になって金属組織の自由エネルギーが下がり、硬くなったと考えられた。一連の振幅での特定周波数系列の能動的共振



〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 日本サイ科学会発行
 電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp
 公式サイト <http://psi-science.org> ML申し込み先 office21@psij.mail-box.ne.jp

スプーン曲げができる人は 「悟り」が近い!

佐佐木 康二 (東北日本サイ科学会会長)

スプーン曲げは古くて新しい問題である。清田益章氏らを被験者とする佐々木茂美先生らによる肯定的研究(「サイ科学」Vol.1 No.1, Vol.3 No.1等)があるにもかかわらず、スプーン曲げが実際にできたとする人以外、否定学者や世間一般からは、子供だましやトリックだと思われてきた。前回のこのジャーナル記事で筆者はサイ現象は宇宙の背景物質(ダークマターなどと呼ばれる)アクシオンによるのではないかということで、根拠となる念動力、念写、透視の例を挙げたが、最近、スプーン曲げもアクシオン場だろうということがわかってきた。実は、スプーン曲げは、子供だましどころか、「悟り」や健康の指標になるような本質的な事柄だったのである。

1950年代から1960年代に米国デューク大学のH. Forwardによって行われたサイコロの位置決めテストの念動力の実験式

$$E = E_m (1 - e^{-az})$$

をこのアクシオン場 Ψ を表すクライン・ゴルドン方程式

$$\left[\frac{1}{c^2} \frac{\partial^2}{\partial t^2} - \nabla^2 + \left(\frac{mc}{\hbar} \right)^2 \right] \psi(x, t) = \kappa \rho$$

の解によって $a=mc/\hbar$ (m はアクシオンの質量)と説明できたことは前回も述べたとおりである。このクライン・ゴルドン方程式の非斉次項 $\kappa \rho$ はPontryagin密度の項で、

$$E_m \propto \rho$$

となり、我々の意識の湧き出し源になっている(非斉次項のあるクライン・ゴルドン方程式は $m=0$ とすると、電波の送受信アンテナのある式に対応していることがわかる)。

ここでは詳細を述べることは紙面の都合でできないが、筆者が長年研究して来ている「磁流理論」では、以上のことも根拠として、アクシオン場は昔から言われる「気」や「オーラ」のことでもあることがわかっている。またアクシオン場は宇宙の意図であり、この宇宙は、関英男先生が述べているサイ情報系(幽子情報系)のような一大宇宙システムになっていることを確認するに至っている。

そこで「悟り」もアクシオン場の問題になる。「悟り」は仏教的表現だが、ここでいう「悟り」はマズローのいう最上位の「自己実現」、ポジティブ心理学でいう「超越」、フロー心理学の「フロー」、イスラム教圏でいう「ファナー」、キリスト教圏でいう「エクスタシス」などの意味合いであり、ほんとの自己実現、宇宙との一体、神人合一のことである。そして、その中身のもっとも簡易な指標の一つが $1/f$ ゆらぎであるとわかった。 $1/f$ ゆらぎとは小川のせせらぎとかそよ風のような「心地よさ」を誘う振動として有名だが、自然界の音波・加速度、宇宙線強度、水晶の共振周波数、心地よいときの脳波・脈波等々